

上場会社名 GMOペパボ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3633 URL <https://pepabo.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤健太郎  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 五十島啓人 (TEL) 03-5456-3021  
定時株主総会開催予定日 2024年3月19日 配当支払開始予定日 —  
有価証券報告書提出予定日 2024年3月21日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年12月期の連結業績 (2023年1月1日～2023年12月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期	10,903	3.5	△340	—	△246	—	△628	—
2022年12月期	10,531	△11.4	732	△17.6	767	△20.8	510	△28.7

(注) 包括利益 2023年12月期 △614百万円 (—%) 2022年12月期 319百万円 (△59.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年12月期	△119.16	—	△27.9	△2.2	△3.1
2022年12月期	96.37	—	18.2	7.6	7.0

(参考) 持分法投資損益 2023年12月期 4百万円 2022年12月期 1百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期	10,874	1,811	16.7	343.22
2022年12月期	11,435	2,689	23.5	509.58

(参考) 自己資本 2023年12月期 1,811百万円 2022年12月期 2,689百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年12月期	1,779	△325	△702	4,360
2022年12月期	△213	△510	712	3,609

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2022年12月期	0.00	0.00	0.00	50.00	50.00	263	51.9	9.4
2023年12月期	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	0.00	0.00	0.00	40.00	40.00	—	50.0	—

## 3. 2024年12月期の連結業績予想 (2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	10,963	0.5	700	—	700	—	421	—	79.95

(注) 第2四半期連結累計期間の連結業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無  
新規 一社（社名） 一、除外 一社（社名） 一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期	5,468,700株	2022年12月期	5,468,700株
② 期末自己株式数	2023年12月期	191,657株	2022年12月期	191,657株
③ 期中平均株式数	2023年12月期	5,277,043株	2022年12月期	5,292,936株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

決算説明会資料の入手方法

下記URLより、当社IRサイト内の決算説明会資料をご参照ください。  
なお、2月13日（火）16時頃の掲載予定です。

URL:<https://pdf.pepabo.com/presentation/20240213p.pdf>

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(会計方針の変更) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	17
(重要な後発事象) .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当社は「人類のアウトプットを増やす」というミッションのもと、表現活動を支援するための様々なウェブサービス及びスマートフォンアプリを提供しています。

当連結会計年度は、レンタルサーバーサービス「ロリポップ!」やECサイト構築サービス「カラーミーショップ」などのストック型ビジネスが価格改定の効果により堅調に推移しました。一方で、リオープンに伴う消費動向の変化による影響を受け、オリジナルグッズ作成・販売サービス「SUZURI」、国内最大級のハンドメイドマーケット「minne」の流通額が前年を下回りました。

利益面では、金融支援事業の「FREENANCE」において、第2四半期連結会計期間までに滞留債権に対する貸倒関連費用を計上したことから損失計上となりました。

その結果、当連結会計年度における業績は、売上高10,903,608千円（前期比3.5%増）、営業損失340,988千円（前期は営業利益732,303千円）、経常損失246,730千円（前期は経常利益767,173千円）、親会社株主に帰属する当期純損失628,787千円（前期は親会社株主に帰属する当期純利益510,092千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、ホームページ制作サービス「グーペ」をEC支援事業からホスティング事業へ区分変更しました。当連結会計年度の比較・分析は変更後の区分に基づいております。

#### ① ホスティング事業

ホスティング事業には、個人からビジネスまで幅広い用途にご利用頂けるレンタルサーバーサービス「ロリポップ!」及びドメイン取得代行サービス「ムームードメイン」等が属しております。

「ロリポップ!」におきましては、定額ホームページ制作プランの割引キャンペーンをはじめ高単価プランの契約獲得に取り組んだものの、低単価プランの新規契約件数が減少し、契約件数は412,781件（前期末比2.3%減）となりました。一方で、2023年2月に行った価格改定の効果や上位プランの契約比率が高まったことから、顧客単価は499円（前期比11.1%増）となりました。

「ムームードメイン」におきましては、電気料金高騰や円安による仕入れ価格上昇の影響を受け、2023年2月よりドメインの新規取得や更新に際しサービス維持調整費を導入したことから顧客単価が増加しました。一方で、新規契約数が減少したことから、登録ドメイン数は1,102,604件（前期末比7.1%減）となりました。

以上の結果、当連結会計年度におけるセグメント売上高5,758,488千円（前期比5.9%増）、セグメント利益は1,921,972千円（前期比1.6%増）となりました。

#### ② EC支援事業

EC支援事業には、月額制ECサイト構築サービス国内店舗数No.1の「カラーミーショップ」及びオリジナルグッズ作成・販売サービス「SUZURI」等が属しております。

「カラーミーショップ」におきましては、従来よりも大規模なECサイト運営を支援するため、2023年1月より「プレミアムプラン」の提供を開始したほか、2023年9月には全国5万店舗以上のECサイトの中から最も優れたショップを表彰する「カラーミーショップ大賞2023」を開催しました。契約件数は、初期費用無料・月額利用料無料でECサイトを開設できるフリープランの累計契約件数は増加しているものの、増加幅が減少したことから50,379件（前期末比0.6%減）となりました。また、月額有料プランの顧客単価は2022年4月に実施した価格改定の効果や上位プランの契約比率が高まり、5,238円（前期比26.3%増）となりました。売上高は顧客単価の増加を受け前年を上回った一方で、利益面では、インフラ等のコストが増加いたしました。

「SUZURI」におきましては、Tシャツセールやアイテムの追加に加え、3Dモデル、音声ファイルなどのデジタルコンテンツの取り扱いを開始し、登録会員数は163万人（前期末比20.1%増）となりました。また、サイトへの訪問者数を増やすために、集客力の高いコンテンツやIPを起用した施策や画像生成AIを活用した新たなグッズ作成体験を提供しました。

当連結会計年度における流通金額は24.3億円（前期比9.4%減）となりました。一方で、利益面ではプロモーション

ン費用を中心としたコスト抑制に取り組みました。

以上の結果、当連結会計年度におけるセグメント売上高は2,997,405千円（前期比5.4%増）、セグメント利益は756,146千円（前期比14.3%増）となりました。

#### ③ ハンドメイド事業

ハンドメイド事業には、国内最大級のハンドメイドマーケット「minne」が属しております。

「minne」では、2023年4月よりデジタル作品や素材、作り方やノウハウを発信するレッスン動画など、ものづくりにまつわるデジタルコンテンツの取り扱いを開始しました。また、2023年9月には2019年以来4年ぶりとなる大規模オンラインイベント「minneのハンドメイドマーケット2023」を開催したほか、作家・ブランドの皆様が作品に興味のある購入者に作品を表示し、販売促進につなげることができる「minne広告」をリリースし、登録作家・ブランド数は90万人（前期末比4.9%増）となりました。一方で、低価格帯作品の流通規模縮小の影響を受け、当連結会計年度における流通金額は129億円（前期比14.4%減）となりました。

以上の結果、当連結会計年度におけるセグメント売上高は1,490,486千円（前期比9.7%減）、セグメント利益は63,032千円（前期比23.3%減）となりました。

#### ④ 金融支援事業

金融支援事業には、連結子会社であるGM0クリエイターズネットワーク株式会社が運営するフリーランス向けファクタリングサービス「FREENANCE」が属しております。

「FREENANCE」におきましては、第2四半期連結会計期間までに滞留債権に対する貸倒関連費用を計上したことから、大型債権の買取を抑制したため、当連結会計年度の請求書買取額は、84.9億円（前期比2.3%減）となりました。

以上の結果、当連結会計年度におけるセグメント売上高は655,796千円（前期比10.4%増）、セグメント損失は1,064,650千円（前期のセグメント損失は26,245千円）となりました。

#### ⑤ その他

その他には、習い事やチーム・教室運営における連絡や集金をクラウド上で一元管理できるサービス「GM0レンシユ」が属しております。

当連結会計年度におけるセグメント売上高は1,430千円（前期比48.0%減）、セグメント損失は42,591千円（前期のセグメント損失は42,592千円）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は8,568,847千円（前連結会計年度末比742,631千円減）となりました。これは、主に関係会社預け金が550,000千円及び現金及び預金が200,942千円増加した一方で、貸倒引当金が856,134千円増加、売掛金が407,384千円及び未収入金が314,448千円減少したことによるものです。

### (固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は2,306,141千円（同181,673千円増）となりました。これは、主に貸倒引当金が133,895千円増加した一方で、ソフトウェアが221,871千円、リース資産が184,894千円増加したことによるものであります。

### (流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は7,913,530千円（同525,359千円減）となりました。これは、主に、契約負債が445,853千円及び1年内償還予定の社債が200,000千円増加した一方で、短期借入金が1,200,000千円減少したことによるものであります。

### (固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は1,150,289千円（同842,284千円増）となりました。これは、主に社債が700,000千円及びリース債務が139,072千円増加したことによるものであります。

### (純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は1,811,168千円（同877,883千円減）となりました。これは、主に親会社株主に帰属する当期純損失計上に伴い利益剰余金が628,787千円及び配当金の支払いにより利益剰余金が263,852千円が減少したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ750,942千円増加し、4,360,340千円となりました。各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動の結果得られた資金は1,779,203千円となりました。

これは、主に税金等調整前当期純損失395,646千円減少の一方で、貸倒引当金の増加額856,134千円、契約負債の増加額445,853千円、売上債権の減少額407,384千円及び未収入金の減少額312,808千円による増加の結果であります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果支出した資金は325,626千円となりました。

これは、主に投資事業組合からの分配による収入118,298千円による増加の一方で、無形固定資産の取得による支出275,518千円及び有形固定資産の取得による支出125,505千円による減少の結果であります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果支出した資金は702,634千円となりました。

これは、主に社債の発行による収入987,931円による増加の一方で、短期借入金の純減少額1,200,000千円、配当金の支払額263,896千円及びファイナンス・リース債務の返済による支出126,669千円による減少の結果であります。

## (4) 今後の見通し

次期（2024年12月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高10,963百万円、営業利益700百万円、経常利益700百万円、親会社株主に帰属する当期純利益421百万円を見込んでおります。

セグメント別の業績等の詳細につきましては、本日発表の決算説明会資料をご参照ください。

URL：<https://pdf.pepabo.com/presentation/20240213p.pdf>

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
2024年12月期 業績予想	10,963	700	700	421	79.95
2023年12月期 実績	10,903	△340	△246	△628	△119.16
増減額	59	1,041	946	1,050	-
増減率(%)	0.5	-	-	-	-

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

環境変化の激しいインターネット業界においては、企業体質の強化及び積極的な事業展開に備えるための内部留保の充実が重要であると考えますが、利益還元も重要な経営課題と認識しております。当社では、事業の成長に基づく中長期的な株式価値の向上とともに、配当性向50%以上を基本として、業績に連動した配当を継続的に実施できる収益力の安定に努めます。

しかしながら、当期の期末配当につきましては、親会社株主に帰属する当期純損失を計上したことから、誠に遺憾ながら当期の期末配当を無配とさせていただく予定であります。また、次期の配当につきましては、配当性向50.0%の年間1株当たり40.00円を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で財務諸表を作成しておりますが、今後の事業展開や国内外の諸情勢を踏まえた上で、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当連結会計年度 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,559,397	2,760,340
関係会社預け金	1,050,000	1,600,000
売掛金	2,593,241	2,185,857
商品	11,444	5,367
貯蔵品	3,671	2,751
未収入金	1,934,823	1,620,374
前払費用	1,317,101	1,404,489
その他	120,469	124,472
貸倒引当金	△278,672	△1,134,807
流動資産合計	9,311,478	8,568,847
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	44,484	55,671
工具、器具及び備品（純額）	268,781	264,323
リース資産（純額）	335,624	520,518
その他	2,862	2,862
有形固定資産合計	651,752	843,375
無形固定資産		
ソフトウェア	387,878	609,750
その他	346,379	65,737
無形固定資産合計	734,258	675,488
投資その他の資産		
投資有価証券	643,374	631,482
繰延税金資産	8,983	66,794
その他	86,099	222,896
貸倒引当金	—	△133,895
投資その他の資産合計	738,457	787,277
固定資産合計	2,124,468	2,306,141
資産合計	11,435,946	10,874,988



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当連結会計年度 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	248,698	258,389
未払金	2,107,806	1,860,713
短期借入金	1,200,000	—
1年内償還予定の社債	—	200,000
リース債務	90,456	157,041
未払法人税等	84,212	199,509
契約負債	3,846,533	4,292,386
預り金	512,749	514,668
賞与引当金	59,484	70,780
その他	288,948	360,042
流動負債合計	8,438,890	7,913,530
固定負債		
社債	—	700,000
リース債務	281,214	420,286
資産除去債務	26,790	30,002
固定負債合計	308,004	1,150,289
負債合計	8,746,894	9,063,819
純資産の部		
株主資本		
資本金	262,224	262,224
資本剰余金	256,699	256,699
利益剰余金	2,500,920	1,608,281
自己株式	△393,834	△393,834
株主資本合計	2,626,009	1,733,370
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63,042	77,798
その他の包括利益累計額合計	63,042	77,798
純資産合計	2,689,052	1,811,168
負債純資産合計	11,435,946	10,874,988

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
売上高	10,531,259	10,903,608
売上原価	4,454,892	4,972,504
売上総利益	6,076,367	5,931,103
販売費及び一般管理費	5,344,063	6,272,092
営業利益又は営業損失(△)	732,303	△340,988
営業外収益		
受取利息	2,489	2,441
受取配当金	3,084	4,186
投資事業組合運用益	18,969	94,644
持分法による投資利益	1,403	4,258
業務受託料	13,058	12,243
その他	15,613	22,739
営業外収益合計	54,619	140,514
営業外費用		
支払利息	4,690	12,857
投資事業組合運用損	12,307	18,460
社債発行費	—	12,068
その他	2,752	2,870
営業外費用合計	19,750	46,256
経常利益又は経常損失(△)	767,173	△246,730
特別利益		
新株予約権戻入益	10,250	—
特別利益合計	10,250	—
特別損失		
減損損失	—	118,915
投資有価証券評価損	5,999	29,999
特別損失合計	5,999	148,915
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	771,423	△395,646
法人税、住民税及び事業税	223,704	293,173
法人税等調整額	60,767	△60,032
法人税等合計	284,471	233,141
当期純利益又は当期純損失(△)	486,951	△628,787
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△23,140	—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	510,092	△628,787

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	486,951	△628,787
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△167,265	14,755
その他の包括利益合計	△167,265	14,755
包括利益	319,686	△614,031
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	342,826	△614,031
非支配株主に係る包括利益	△23,140	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	262,224	254,303	2,502,183	△333,727	2,684,984
会計方針の変更による累積的影響額			△150,479		△150,479
会計方針の変更を反映した当期首残高	262,224	254,303	2,351,703	△333,727	2,534,504
当期変動額					
剰余金の配当			△360,874		△360,874
親会社株主に帰属する当期純利益			510,092		510,092
自己株式の取得				△79,912	△79,912
自己株式の処分		2,395		19,804	22,200
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	2,395	149,217	△60,107	91,505
当期末残高	262,224	256,699	2,500,920	△393,834	2,626,009

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	230,307	230,307	14,806	23,140	2,953,237
会計方針の変更による累積的影響額					△150,479
会計方針の変更を反映した当期首残高	230,307	230,307	14,806	23,140	2,802,757
当期変動額					
剰余金の配当					△360,874
親会社株主に帰属する当期純利益					510,092
自己株式の取得					△79,912
自己株式の処分					22,200
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△167,265	△167,265	△14,806	△23,140	△205,211
当期変動額合計	△167,265	△167,265	△14,806	△23,140	△113,705
当期末残高	63,042	63,042	—	—	2,689,052

当連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計
当期首残高	262,224	256,699	2,500,920	△393,834	2,626,009
当期変動額					
剰余金の配当			△263,852		△263,852
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△628,787		△628,787
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	△892,639	—	△892,639
当期末残高	262,224	256,699	1,608,281	△393,834	1,733,370

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	63,042	63,042	—	—	2,689,052
当期変動額					
剰余金の配当					△263,852
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)					△628,787
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)	14,755	14,755			14,755
当期変動額合計	14,755	14,755	—	—	△877,883
当期末残高	77,798	77,798	—	—	1,811,168

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	771,423	△395,646
減価償却費	346,177	454,880
減損損失	-	118,915
貸倒引当金の増減額(△は減少)	183,869	856,134
賞与引当金の増減額(△は減少)	35,994	11,295
投資有価証券評価損益(△は益)	5,999	29,999
投資事業組合運用損益(△は益)	△6,662	△76,184
持分法による投資損益(△は益)	△1,403	△4,258
受取利息及び受取配当金	△5,574	△6,627
支払利息	4,690	12,857
社債発行費	-	12,068
新株予約権戻入益	△10,250	-
売上債権の増減額(△は増加)	92,088	407,384
棚卸資産の増減額(△は増加)	△5,896	6,997
前払費用の増減額(△は増加)	△189,111	△87,388
未収入金の増減額(△は増加)	△1,471,263	312,808
その他の流動資産の増減額(△は増加)	15,641	△4,002
営業未払金の増減額(△は減少)	△32,266	△252
未払金の増減額(△は減少)	△37,346	△247,670
契約負債の増減額(△は減少)	404,907	445,853
預り金の増減額(△は減少)	32,384	1,918
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△53,634	110,074
その他	△1,651	6,764
小計	78,115	1,965,923
利息及び配当金の受取額	5,551	6,665
利息の支払額	△4,690	△11,372
法人税等の支払額	△292,370	△182,012
営業活動によるキャッシュ・フロー	△213,395	1,779,203
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△169,322	△125,505
無形固定資産の取得による支出	△326,164	△275,518
投資有価証券の取得による支出	△65,000	△40,000
敷金及び保証金の差入による支出	△400	△2,901
投資事業組合からの分配による収入	50,505	118,298
敷金及び保証金の回収による収入	231	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△510,150	△325,626
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,200,000	△1,200,000
社債の発行による収入	-	987,931
社債の償還による支出	-	△100,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△64,736	△126,669
ストックオプションの行使による収入	17,644	-
自己株式の取得による支出	△79,912	-
配当金の支払額	△360,715	△263,896
財務活動によるキャッシュ・フロー	712,280	△702,634
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△11,265	750,942
現金及び現金同等物の期首残高	3,620,663	3,609,397
現金及び現金同等物の期末残高	3,609,397	4,360,340

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

当社グループは、「人類のアウトプットを増やす」というミッションのもと、表現活動を支援するための様々なウェブサービス及びスマートフォンアプリを提供しており、「ホスティング事業」「EC支援事業」「ハンドメイド事業」「金融支援事業」の4つを報告セグメントとしております。「ホスティング事業」では、主にサーバーを提供するレンタルサーバーサービスに加えてドメイン取得や活用に関わるドメイン取得サービスを提供しており、「EC支援事業」では、主に電子商取引の運営を支援するECサイト構築サービスに加えてオリジナルアイテム作成・販売サービスを提供しております。また、「ハンドメイド事業」では、ハンドメイドマーケットサービスを提供しており、「金融支援事業」では、フリーランス向けファクタリングサービスを提供しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。また、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、第1四半期連結会計期間期首の組織変更に伴い、第1四半期連結会計期間より、従来「EC支援事業」に属していたグループを「ホスティング事業」に区分変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

4. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報  
前連結会計年度(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	ホスティング 事業	EC支援 事業	ハンドメイド 事業	金融支援 事業	計				
売上高									
ロリポップ	2,295,153	—	—	—	2,295,153	—	2,295,153	—	2,295,153
ムームードメイン	2,247,989	—	—	—	2,247,989	—	2,247,989	—	2,247,989
カラーミーショップ	—	1,853,380	—	—	1,853,380	—	1,853,380	—	1,853,380
SUZURI	—	958,491	—	—	958,491	—	958,491	—	958,491
minne	—	—	1,650,561	—	1,650,561	—	1,650,561	—	1,650,561
FREENANCE	—	—	—	593,839	593,839	—	593,839	—	593,839
その他	896,582	32,508	—	—	929,091	2,751	931,843	—	931,843
顧客との契約から 生じる収益	5,439,726	2,844,381	1,650,561	593,839	10,528,508	2,751	10,531,259	—	10,531,259
外部顧客への売上高	5,439,726	2,844,381	1,650,561	593,839	10,528,508	2,751	10,531,259	—	10,531,259
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,439,726	2,844,381	1,650,561	593,839	10,528,508	2,751	10,531,259	—	10,531,259
セグメント利益 又は損失(△)	1,891,751	661,798	82,208	△26,245	2,609,512	△42,592	2,566,920	△1,834,616	732,303
セグメント資産 (注) 4	2,398,805	1,226,583	1,491,862	1,654,799	6,772,050	6,011	6,778,062	4,657,884	11,435,946
その他の項目									
減価償却費(注) 5	213,627	105,138	—	—	318,765	—	318,765	27,411	346,177
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額(注) 6	486,917	232,287	—	—	719,205	—	719,205	32,843	752,049

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、GMOLensを含んでおります。  
 2. セグメント利益の調整額△1,834,616千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
 3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。  
 4. セグメント資産のうち、調整額に含めた報告セグメントに配分していない全社資産の金額は4,657,884千円であり、その主なものは、現金及び預金、関係会社預け金、投資有価証券、管理部門に係る資産等であります。  
 5. 減価償却費の調整額27,411千円は、報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却費であります。  
 6. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額32,843千円は、報告セグメントに帰属しない全社資産の設備投資であります。



当連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	ホスティング 事業	EC支援 事業	ハンドメイド 事業	金融支援 事業	計				
売上高									
ロリポップ	2,503,241	—	—	—	2,503,241	—	2,503,241	—	2,503,241
ムームードメイン	2,348,184	—	—	—	2,348,184	—	2,348,184	—	2,348,184
カラーミーショップ	—	2,067,692	—	—	2,067,692	—	2,067,692	—	2,067,692
SUZURI	—	918,132	—	—	918,132	—	918,132	—	918,132
minne	—	—	1,490,486	—	1,490,486	—	1,490,486	—	1,490,486
FREENANCE	—	—	—	655,796	655,796	—	655,796	—	655,796
その他	907,063	11,580	—	—	918,643	1,430	920,074	—	920,074
顧客との契約から 生じる収益	5,758,488	2,997,405	1,490,486	655,796	10,902,177	1,430	10,903,608	—	10,903,608
外部顧客への売上高	5,758,488	2,997,405	1,490,486	655,796	10,902,177	1,430	10,903,608	—	10,903,608
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,758,488	2,997,405	1,490,486	655,796	10,902,177	1,430	10,903,608	—	10,903,608
セグメント利益 又は損失(△)	1,921,972	756,146	63,032	△1,064,650	1,676,501	△42,591	1,633,910	△1,974,899	△340,988
セグメント資産 (注) 4	2,606,009	1,100,031	1,205,145	506,033	5,417,220	6,292	5,423,512	5,451,476	10,874,988
その他の項目									
減価償却費(注) 5	271,785	154,348	—	—	426,133	—	426,133	28,746	454,880
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額(注) 6	460,310	177,963	—	—	638,274	—	638,274	36,262	674,537

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、GM0レンシュを含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△1,974,899千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. セグメント資産のうち、調整額に含めた報告セグメントに配分していない全社資産の金額は5,451,476千円であり、その主なものは、現金及び預金、関係会社預け金、投資有価証券、管理部門に係る資産等であります。
5. 減価償却費の調整額28,746千円は、報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却費であります。
6. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額36,262千円は、報告セグメントに帰属しない全社資産の設備投資であります。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高は、連結損益計算書の売上高の10%未満であるため記載を省略しています。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため該当事項はありません。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客に対する売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しています。

当連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高は、連結損益計算書の売上高の10%未満であるため記載を省略しています。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため該当事項はありません。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客に対する売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しています。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

	ホスティング 事業	EC支援事業	ハンドメイド 事業	金融支援事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	118,915	—	—	—	—	—	118,915

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
1株当たり純資産額	509円58銭	343円22銭
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	96円37銭	△119円16銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	510,092	△628,787
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	510,092	△628,787
普通株式の期中平均株式数(株)	5,292,936	5,277,043
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	2014年3月21日定時株主総会決議及び2015年2月16日取締役会決議に基づく新株予約権については、2022年2月17日をもって権利行使期間満了により失効しております。	

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度末 (2022年12月31日)	当連結会計年度末 (2023年12月31日)
純資産の部の合計額(千円)	2,689,052	1,811,168
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
(うち新株予約権(千円))	( — )	( — )
(うち非支配株主持分(千円))	( — )	( — )
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	2,689,052	1,811,168
1株当たりの純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	5,277,043	5,277,043

(重要な後発事象)

該当事項はありません。